

# イベント開催に伴う津波防災チェックリスト

イベントを実施する場合には、イベント参加者等の命を守るため、このチェックリストで確認しながら避難マニュアルを作成し、災害の発生に備えてください。

## 1 開催会場の住所を確認

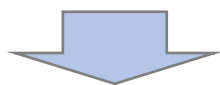
開催会場名	
会場住所	

## 2 開催会場が南海トラフ地震発生時に津波で浸水するかを確認

高知県ホームページに掲載されている「[高知県防災マップ](#)」で会場が津波浸水区域の内か外かを確認してください。  
(<http://bousaimap.pref.kochi.lg.jp/>)



津波浸水区域内の場合



津波浸水区域外の場合



## 3 津波浸水の想定を踏まえて避難準備のチェック

### 「Ⅰ 津波浸水区域内におけるチェックリスト」へ

- 津波到達時間を確認する。
- 津波避難場所を確認する。
- その他

### 「Ⅱ 津波浸水区域外におけるチェックリスト」へ

- 建物の耐震性を確認する。
- 火災発生の危険性を確認する。
- その他

# I 津波浸水区域内におけるチェックリスト

「I イベント開催時における避難マニュアル(津波浸水区域内版)」(以下、「区域内マニュアル」)と合わせて作成してください。

また、全ての項目について準備が必要です。項目を確認したら左の  にチェック(  )をしてください。

項目を確認したらチェックをしてください

No.	項目	確認すべきマニュアルのページ
<input type="checkbox"/> 1	開催会場となる施設の防災責任者と打合せを行う。 会場リスク、防災設備や器具などについて確認する。	P1
<input type="checkbox"/> 2	開催会場付近の避難場所を把握する。 収容人数・距離を踏まえて避難場所を確認する。	P2 P6
<input type="checkbox"/> 3	避難経路の途中で、災害で通行できなくなる可能性のある場所や、二次災害のリスクがある場所を把握する。 土砂崩れや浸水が想定される経路や、危険な区域を把握する。	P2 P6
<input type="checkbox"/> 4	開催会場の地震に関するリスクを把握する。 建物の耐震性や火災・液状化の発生など、津波以外にも避難を要するリスクを確認する。	P3
<input type="checkbox"/> 5	災害が発生した場合の対処を指揮する責任者及び担当者、避難誘導の際の役割分担を決める。 避難誘導の際の行動を具体的に定め、役割分担を決める。	P4 P7 P8
<input type="checkbox"/> 6	参加者・観客数に対する避難誘導の人員を確保する。 安全に誘導するため、役割に応じた必要な人員を確保する。	P4
<input type="checkbox"/> 7	避難判断・誘導に不可欠な設備・器材を準備する。 避難の可否を判断するための情報収集や避難誘導等に必要な資器材を確認する。	P5
<input type="checkbox"/> 8	避難誘導の担当者がそれぞれとるべき行動を確認する。 事前の役割・内容・手順などを確認しておくことが重要。	P7 P8

※マニュアル P1「避難マニュアル作成のポイント」をまとめています。こちらも参考にしてください。

## Ⅱ 津波浸水区域外におけるチェックリスト

「Ⅱ イベント開催時における避難マニュアル(津波浸水区域外版)」(以下、「区域外マニュアル」)と合わせて作成してください。

また、全ての項目について準備が必要です。項目を確認したら左の  にチェック(  )をしてください。

項目を確認したらチェックしてください

No.	項目	確認すべきマニュアルのページ
<input type="checkbox"/> 1	開催会場となる施設の防災責任者と打合せを行う。 会場リスク、防災設備や器具などについて確認する。	P1
<input type="checkbox"/> 2	開催会場の地震に関するリスクを把握する。 建物の耐震性や火災・液状化の発生など避難を要するリスク等を確認する。	P2
<input type="checkbox"/> 3	災害が発生した場合の対処を指揮する責任者及び担当者、避難誘導の際の役割分担を決める。 避難誘導の際の行動を具体的に定め、役割分担を決める。	P3 P6 P7
<input type="checkbox"/> 4	参加者・観客数に対する避難誘導の人員を確保する。 安全に誘導するため、役割に応じた必要な人員を確保する。	P3
<input type="checkbox"/> 5	避難判断・誘導に不可欠な設備・器材を準備する。 避難の要否を判断するための情報収集や避難誘導等に必要な資器材を確認する。	P4
<input type="checkbox"/> 6	避難経路の途中で、災害で通行できなくなる可能性のある場所や、二次災害のリスクがある場所を把握する。 土砂崩れや浸水が想定される経路や、危険な区域を把握する。	P5
<input type="checkbox"/> 7	避難誘導の担当者がそれぞれとるべき行動を確認する。 事前の役割・内容・手順などを確認しておくことが重要。	P6 P7

※マニュアル P1 に「避難マニュアル作成のポイント」をまとめてありますので、こちらも参照ください。